

県立新発田病院だより

第52号 2015年2月発行

新潟県立新発田病院

〒957-8588 新発田市本町 1-2-8
TEL.0254-22-3121 FAX.0254-26-3874
<http://www.sbthp.jp/>

【当院の基本理念】

1. 県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんに優しく安全で信頼される病院を目指します。
3. 保健福祉・医療機関と連携して地域の基幹病院としての役割を担います。
4. 教育・研修を積極的に行ない、医療の未来に貢献できる人材を育てます。

目次

- P 1. 巻頭言
P 2. 病院トピックス：研修を終えるに当たって
P 3. 医療情報：もし、家族がインフルエンザにかかったら？・ミニクイズ
P 4. 患者さんの声、患者さんの権利、編集後記

医療事務室です。 不明な点は、いつでも窓口へお問い合わせください。

医事企画員 小見正之

新発田病院の正面玄関を入ってすぐ右手にある医療事務室の窓口は、「病院の顔」として患者さんと最初に接する部門であり、笑顔で親切かつ迅速で正確な対応を心がけています。また、患者さんの医療費負担に対する疑問について、いつでもお答えできるように努めております。

今回は、その医療費について、二点ほど説明をさせていただきたいと思います。

まず、「医療費の明細書」の発行についてです。

当院では、医療費の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、昨年より、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しています。外来は、自動支払機等における領収書発行の際に、入院は、請求書と一緒に交付しております。

この明細書には、行われた検査の項目など、患者さんの大切な個人情報に記載されておりますので、自動支払機におけるお取り忘れなどがないよう、お取扱いにはご注意ください。

次に、「医療費の助成制度」についてです。

患者さんからお支払いいただく医療費に対しては、健康の向上と福祉の増進等を図るため、医療費の一部を助成する制度があり、具体的には、高額療養費制度、ひとり親家庭等医療費助成事業、子どもの医療費助成事業、自立支援医療給付制度などがあります。医療事務室では、患者さんがこれらの制度を有効

に使えるよう情報提供に努めております。

特に、利用頻度の多い高額療養費制度ですが、この1月から、70歳未満の方にご負担いただく医療費の限度額が所得に応じて見直されました。

この高額療養費制度は、1か月の医療費の自己負担額が限度額を超えた場合、各保険者から交付される「限度額適用認定証」を提示していただくことで、窓口でのお支払額を限度額までにとどめることができる制度です。この認定証が無いと、後から払い戻されるとはいえ、一時的に窓口で多額のお支払いをしていただかなければならず、経済的に大きな負担となります。入院が決まった場合など、あらかじめ各保険者に申請して認定証の交付を受けることをお勧めします。

以上になりますが、医療費や各種助成制度等について、不明な点がございましたらいつでも窓口へお問い合わせください。





研修を終えるに当たって

臨床研修医 野崎 あさみ

医師として新発田病院で働き始めてから、もうすぐ2年となり、研修医生活も終わりを迎えようとしています。

大学から新潟に来て、研修は地元である北海道に帰って行おうと思っていましたが、医学部6年生の実習で新発田病院に来て、研修医の先輩方、先生方が、生き生きと働いている姿をみて、私もこの中で働きたいなと思ったのをきっかけに、新発田病院で研修医生活を送らせていただくこととなりました。

緊張と期待が入り混じった気持ちで研修医生活がスタートしましたが、実際に医師として働き始めると、わからないことや戸惑うことだらけで反省の毎日でした。上級医の先生方の後を必死に追って、スタッフの方々に助けてもらいながら、少しずつ成長することができたと思います。

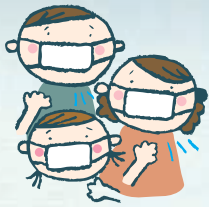
笑顔で退院していかれる患者さんやどんどん状態が改善していく患者さんを見て嬉しい気持ちになる一方で、担当患者さんの急変や死など辛いこともたくさんありました。どう気持ちの整理をつけたらいいかわからず落ち込んでいた時に、同期や先輩がただただ話を聞いてくれたり、上級医の先生が私の様子に気がついて声をかけてくれたりと、周りの人たちのおかげでいろいろな状況を乗り越えることができました。病棟で夜遅くまで働いて疲れきっているときに、こっそりもらった飴玉にもとても助けられました。

私たち研修医にとって研修病院は、右も左も分からない状態から医師としてのスタートラインに立たせてもらうまでのとても大事な時間を与えてくれた病院です。上級医の先生方、病院スタッフの方々、患者さん方、家族、そして仲間を支えられ叱咤激励されながら、ここまで来られたことに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これから私たち同期はそれぞれの道に進みます。これまで毎日顔を合わせて、一緒に笑ったり喧嘩したりしていた仲間がバラバラになってしまうのはとても寂しいですが、みんなが新発田病院で研修した医師としてそれぞれの場所で活躍できたらと思います。また、ひと回り大きく成長した後で、もう一度新発田病院に来て、恩返しをさせてもらえる日が来たらうれしいなと思います。

最後になりましたが、同期研修医を代表し、お礼の言葉を述べさせていただきます。2年間、充実した研修をさせていただき、本当にありがとうございました。





もし、家族が インフルエンザにかかったら？



感染管理認定看護師 成田清子

冬季に流行する感染症には、インフルエンザやノロウイルスなどのウイルス感染症があります。感染対策の基本は、必要な場面で手洗いを確実にすること、感染源となるもの（血液、体液、排泄物、粘膜、傷のある皮膚など）に防護策なしに直接接触れないことです。

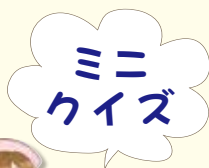
インフルエンザウイルスは、咳やくしゃみで飛び散る飛沫（しぶき）に、ウイルスが含まれるので、手洗いとマスクの着用、咳エチケットが大切となります。現在新発田地域でもインフルエンザが流行していますが、一般的にインフルエンザの家庭内感染は、市中感染の2～3倍といわれています。もし家族がインフルエンザにかかった場合の、家庭でのインフルエンザ対策を次に紹介します。

- ① 可能であれば生活する部屋を分け、看護は決められた人が行う。
- ② 感染者と看護する人も、接触する時はマスクを着用する。
- ③ 感染者と接触後は、速やかに手洗いを行う。（アルコール手指消毒剤の使用も有効）
- ④ こまめに部屋の換気を行う。
- ⑤ 鼻をかんだティッシュペーパーなどは、ビニール袋に密閉して捨てる。
- ⑥ 抗インフルエンザ薬が処方されている場合は、忘れずに最後まで飲みきる。
- ⑦ 同居家族、共同生活者が65歳以上の高齢者、慢性呼吸器疾患または慢性心疾患患者、代謝性疾患患者（糖尿病など）、腎機能障害患者である場合は、感染しないようオセルタミビルリン酸塩（タミフル®）を予防投与としてもちいる場合があるので、かかりつけ医に相談する。

☆インフルエンザウイルスが人に感染する期間は、成人では、発症する1日前から発症後5日間、小児は7日以上示すと言われています。かかったら無理をせず、学校や職場を休むことが大切です。



はき気がある時の食事についての問題です。 正しいと思うものを番号でお答えください。



吐いてしまったとき食事ではどのようなことに注意すればいいでしょうか。

1. いつも通りしっかり3食食べる。
2. 水分を制限する。
3. よく噛んで

回答は4ページにあります。



投書箱から

《患者さんの声1》

病棟の端に椅子を置くと患者さんも喜ぶと思います。

《回答1》

ご意見ありがとうございます。談話の際、椅子があると便利だと思いますが、防災の都合により設置することは難しい状況です。デイルームを活用していただけるようお願いいたします。

《患者さんの声2》

駐車場の定期券の申請が必要で、地域連携センターに申請書をもらいに来ましたが、祝日のため閉まっておりますませんでした。申請書だけでも持って帰れるようにしていただけませんか。

《回答2》

ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。定期券の申請書は各病棟に準備してございます。病棟看護師にお申し付けください。なお、休日の駐車券処理も病棟で対応しておりますので、ご協力をお願いします。

《患者さんの声3》

病衣にポケットを付けてほしい。トイレに行っても手を拭くことができません。

《回答3》

病衣のポケットにつきましては、洗濯時に貴重品、お金等の忘れ物が多くあり、問題があったことから、現在つけておりません。ご理解をお願いします。

患者さんの権利

- 患者さんならびにご家族は、患者さんの病状、医療の内容につき十分な説明を受けることができます。
そのうえで患者さんは、自らの希望する最適な治療を選択する事ができます。
- 患者さんは、プライバシーを守られ、個人として尊ばれる権利があります。
国籍、人種、信条、社会的身分、経済的状態などによる差別を受ける事はありません。
- 患者さんは、安全で快適な療養環境の提供を受けることができます。また患者さんならびにご家族は、自らの希望・意見を述べる事ができ、それを尊重される権利があります。

ミニクイズ ～回答と説明～

正解 3

嘔吐時、一度にたくさんの食べ物を詰め込むよりも、少量ずつ摂取する方が消化管に負担がかかりません。油っぽいものは避け、飲み込みやすいものを中心に少しずつ摂取していきましょう。

嘔吐すると水分は体外に出て行ってしまっています。こまめな水分補給が必要です。

よく噛んで食べることによって消化吸収を助け、消化管にかかる負担が軽減します。



編集後記

寒さ厳しい中にも春の予感がちらほら、確定申告の季節も来ます。胃腸炎やインフルエンザに負けずにこの冬をのりきりましょう。

《編集委員》

清野 康夫	三井田 博	浅野 堅策	保坂 裕紀	齋藤 操	菊池 美紀
五十嵐啓子	渡辺 和子	和田 恵梨	片岡 吉和	小見 正之	関原 隆